

生徒発表

講演者 神奈川県立津久井高等学校 生徒

学校名 神奈川県立津久井高等学校

研究テーマ 「交通安全意識を高める取り組みについて」

1. バイク通学について

津久井高等学校は、県内の公立高校で、唯一バイク通学を認められている学校です。現在、1年生2名、2年生5名、3年生15名 合計22名の生徒がバイク通学をしています。

通学環境を改善するために、一定の条件のもとでバイク通学が導入されています。

バイク通学許可の条件は

- 相模原市緑区以外の居住する生徒
- 指定された中学校の学区内に居住する生徒であること
- バスを利用する場合、乗り継ぎが必要で、バスの本数が極めて少ないことなど、特別な事情によりバイクを使用することが、妥当であると校長先生が認めた生徒であること
- 装備の基準については、使用する車両は原付1種であること。改造車でないこと。左右にミラーをつけていること。ヘルメットはフルフェイス、またはジェット型であること。

以上の条件のもと、バイク通学が許可されています。

バイク通学者は、定期的に講師の方から交通安全についての講習を受けます。

また、年に1回、白バイ隊員の方から、実技講習を受けます。

実際に、どのようにバイクの点検を行うのかを具体的に指導していただきます。



点検をおえたら、運転技術の指導をうけます。



校内でも2か月に1回放課後に車両点検を受けています。



2. 自転車通学時のヘルメット着用について

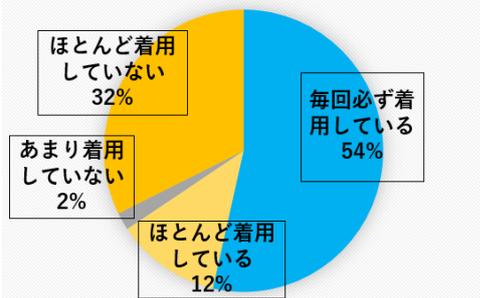
昨年の夏休み明けから、津久井高校では自転車通学者のヘルメット着用が義務化となりました。そこで私達はヘルメット着用への意識調査を行いました。

調査の中で聞いた内容は

- ① 登下校時にヘルメットを着用しているか
 - ② 登下校時以外でヘルメットを着用しているか
 - ③ ヘルメット着用への考え
 - ④ その理由
- の4点です。

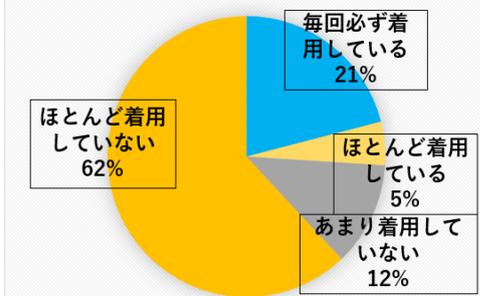
ヘルメット着用 意識調査 結果①

① 登下校時のヘルメット着用率



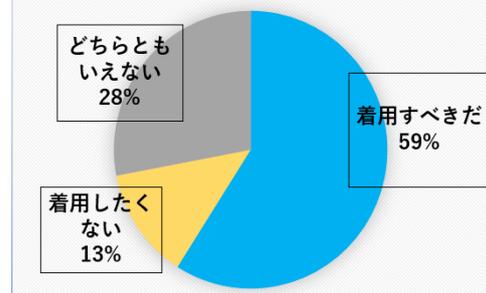
ヘルメット着用 意識調査 結果②

② 登下校時以外のヘルメット着用率



ヘルメット着用 意識調査 結果③

③ ヘルメットを着用すべきだ



着用すべきと答えた人の意見です。

- 命を守るために必要
- かつこ悪い気もするが、命なくして見た目を気にすることができない
- 大きなけがなどのリスクを減らす努力は可能な限りすべき

続いて着用に否定的、どちらともいえないと答えた人の意見です。

- ヘルメットがあると走行しにくい
- ヘルメットを着用している人が少数派で、着けることが恥ずかしい
- ヘルメットを買うお金や手間の問題

そしてこちらはヘルメットに直接関係ありませんがイヤホンや傘をさしての運転など、危険な運転をする人を取り締まるのが先ではないか、という意見もありました。

また全校生徒対象にスケアードストレート方式による交通安全教室の開催、文化祭では、PTA の方による自転車シミュレーションが展示されました。

今後も、ヘルメット着用の声掛けを継続行い交通安全への意識を広めていきたいと思いません。